

後期基本計画策定に向けて

まちづくりの基本方針2

伊豆の国市にしごとをつくる(産業・経済・労働)

農業、観光産業、医療・福祉産業、これら3つを核として、産業全体の活性化を進めるとともに、市民が期待する就業機会の確保を目指します。

●施策の大綱 2-1 地域を支える人材の就労支援

■成果指標に対する進捗管理

○指標(成果指標) / 事業所数の増加
評価 / 遅れている

○指標(成果指標) / 事業所の従業者数の増加
評価 / 順調に推移している

■後期基本計画の方向性の提案等

| 主要施策 | 後期基本計画の方向性の提案等 |
|----------------------------------|--|
| 9 地域の企業と就業希望者のマッチング、就労訓練や自立相談の推進 | ※マッチング・就業訓練の分野が狭い『就労・雇用へ支援』でよいのではないか。 ※事業継承、創業支援、起業をまとめて『起業・中小企業の支援』としてはどうか。 ※就業への自立支援は『障がい者福祉』に含めてはどうか。 |
| 10 新規就農者の育成・支援 | ※新規就農者の発掘は『体験ツアーや相談対応』でよいのではないか。 ※『農業振興』のなかに新規農業者の育成について含めてはどうか。 ※次世代型農業、スマート農業の振興を就業者支援とあわせて『農業振興』に含めてはどうか。 |
| 11 介護人材育成支援 | ※介護人材の確保(入門的研修、小中高生への啓発など)は『高齢者福祉』へ移動してはどうか。 |

●施策の大綱 2-2 地域特産品の競争力の強化

■成果指標に対する進捗管理

○指標(成果指標) / 地域ブランドの支援件数(累計)
評価 / 順調に推移している

■後期基本計画の方向性の提案等

| 主要施策 | 後期基本計画の方向性の提案等 |
|--------------------------------|--|
| 12 優良農地の保全、農産物や商工品等の地域ブランド化の支援 | ※農地保全・ブランディングは『農業振興』の中でどうか。 ※人・農地のプランに向けて、現況の把握と担い手の確保に努める必要性を記述してはどうか。 ※林業について記述してはどうか。 |
| 13 6次産業化や農商工等連携の支援と地産地消の推進 | ※販路拡大や6次産業化は『商工業振興』に含めてはどうか。 ※農商工等連携は『商工業振興』の6次産業化に含めてよいのではないか。 |

●施策の大綱 2-3 地域産業の活性化と新たな雇用の創出

○指標(成果指標) / 企業誘致件数(累計)
評価 / 概ね順調に推移している

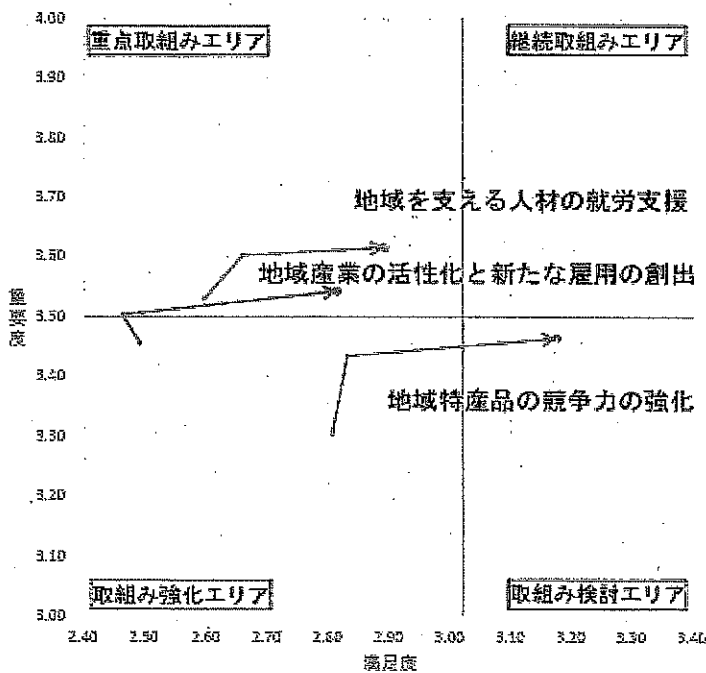
■後期基本計画の方向性の提案等

| 主要施策 | 後期基本計画の方向性の提案等 |
|------|----------------|
|------|----------------|

| | |
|-----------------------------------|---|
| 14 企業誘致等の促進 | ※企業誘致等の推進は、事業項目が少ないことと、市内企業の移転を含むことから『起業・中小企業支援』に含めてはどうか。 |
| 15 中小企業への経営基盤強化支援 | ※中小企業支援は『起業・中小企業支援』に含めてはどうか。 |
| 16 創業希望者への支援体制の強化 | ※創業支援は『起業・中小企業支援』に含めてはどうか。 |
| 17 空き店舗対策や店舗リフォーム等による市街地の魅力の向上の推進 | ※空き店舗対策は、事業範囲が狭いので『商業振興』に含めてはどうか。 ※業態の変更もあるので、リフォームよりも『リノベーション』のほうが良いのではないか。 |

◆ 市民アンケート調査結果

| 項目 | 令和2年度 | | 令和元年度 | | 平成30年度 | |
|---------------------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 満足度 | 重要度 | 満足度 | 重要度 | 満足度 | 重要度 |
| 平均値 | 3.02 | 3.50 | 2.86 | 3.48 | 2.85 | 3.38 |
| 3 地域を支える人材の就労支援 | 2.89 | 3.52 | 2.60 | 3.60 | 2.70 | 3.53 |
| 4 地域特産品の競争力の強化 | 3.17 | 3.46 | 2.83 | 3.43 | 2.91 | 3.30 |
| 5 地域産業の活性化と新たな雇用の創出 | 2.91 | 3.54 | 2.70 | 3.50 | 2.70 | 3.45 |



市民アンケート結果では、全体平均と比較すると市民からの「満足度」は低く「重要度」は比較的高い結果となっている。

「地域産業の活性化と新たな雇用の創出」「地域を支える人材の就労支援」の満足度は、今後、コロナウイルスの影響により、今後、低下する可能性が高い。

この基本方針は「伊豆の国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の柱の一つでもあり、少子化対策に向けた取組の一つとして、より注力していかなければならない分野である。

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

| | | | | | |
|------------------------|---|--|--------------------|-------------|--------|
| まちづくりの基本方針 | 2 伊豆の国市にしごとをつくる(産業・経済・労働) | | | 担当部署 | |
| 施策の大綱 | 1 地域を支える人材の就労支援(産業・経済・労働) | | | 農業商工課 | |
| 成果指標① | 事業所数の増加 | | | | |
| | 基準値(2015年度) | | 1220件 | 目標値(2021年度) | 1280件 |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 特記事項 | |
| | (期待値) 1260件 | (期待値) 1270件 | (目標値) 1280件 | | |
| 実績値 | 1205件 | 1135件 | | | |
| 達成状況 | 未達成 | | 未達成 | | |
| 取組実績 (取組計画) | ・各主要施策等の実施。 | ○計画 ・各主要施策等の実施。 | ○計画 ・各主要施策等の実施。 | | |
| 評価・ 改善内容 | ・未達成であるため、引き続き、事業所等の増加に向けた取組を実施する。 | ・未達成であるため、引き続き、事業所等の増加に向けた取組を実施する。 | | | |
| 成果指標② | 事業所の従業者数の増加 | | | | |
| | 基準値(2015年度) | | 13712人 | 目標値(2021年度) | 14000人 |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 特記事項 | |
| | (期待値) 13900人 | (期待値) 13950人 | (目標値) 14000人 | | |
| 実績値 | 13979人 | 14313人 | | | |
| 達成状況 | 達成 | | 達成 | | |
| 取組実績 (取組計画) | ・各主要施策等の実施: | ○計画 ・各主要施策等の実施。 ●実績 ・就職相談会は、コロナ禍により未実施。HP上での情報発信に取り組んだ。 | ○計画 ・各主要施策等の実施。 | | |
| 評価・ 改善内容 | ・引き続き、市内における就労の場の確保や従業員数の増加に向けた取組を推進する。 | ・引き続き、市内における就労の場の確保や従業員数の増加に向けた取組を推進する。 | | | |
| 大綱の総合評価 (主要施策の達成状況) | 主要施策の達成割合 1/3 | 遅れている。 | | | |

| | | | | |
|----------------|---|--|--|----------|
| 主要施策 | 9 地域の企業と就業希望者のマッチング、就労訓練や自立相談の推進 | | 担当部署 | 農業商工課 |
| 主要施策の 成果指標 | 合同就職相談会参加事業所数 | | | |
| | 基準値 - (2015年度) | | 目標値 20件(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 14件) | (期待値 17件) | (目標値 20件) | |
| 実績値 | 30件 | 0件 | | — |
| 達成状況 | 達成 | | 未達成 | — |
| 取組実績 (取組計画) | ・5月11日、アグシスカつらぎで「伊豆おシゴトさがしフェア」を開催、30事業所と就職希望者のマッチングを実施、参加者68人、伊豆市と合同開催。 | ○計画 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、相談会は中止。求人情報は、市ホームページで公開中。 | ○計画 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、相談会は未定。求人情報は、市ホームページで公開中。 | |
| 評価・ 改善内容 | ・実施時期、実施回数の見直し、業種別、分野別の開催を検討していく。 | ・コロナ禍での事業推進方法を検討する必要がある。 | | |

| | | | | |
|----------------|--|--|---|----------|
| 主要施策 | 10 新規就農者の育成・支援 | | 担当部署 | 農業商工課 |
| 主要施策の 成果指標 | ニューファーマーとして認定された就農者数(平成5年度からの累計) | | | |
| | 基準値 61人(2015年度) | | 目標値 96人(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 84人) | (期待値 90人) | (目標値 96人) | — |
| 実績値 | 81人 | 85人 | | — |
| 達成状況 | 未達成 | 未達成 | | — |
| 取組実績 (取組計画) | <p>・県、JAと連携し「がんばる新農業人」を募集、7人が研修を修了、ニューファーマーへ各種補助金交付など、支援を実施。</p> | <p>○計画 ・がんばる新農業人の募集、面接を実施、制度周知のため、JAホームページの情報を強化予定。 ●実績 ・R2年度のニューファーマー認定者数は4人。</p> | <p>○計画 ・がんばる新農業人の募集、面接を辞し、制度周知に努める。</p> | |
| 評価・ 改善内容 | <p>・目標に達していないが、7人が就農。引き続き、担い手確保に努める。</p> | <p>・引き続き担い手確保に努める。</p> | | |

| | | | | |
|----------------|---|--|---|----------|
| 主要施策 | 11 介護人材育成支援 | | 担当部署 | 長寿福祉課 |
| 主要施策の 成果指標 | 介護職員初任者研修を受講し就労した人数(累計) | | | |
| | 基準値 14人(2015年度) | | 目標値 74人(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 54人) | (期待値 64人) | (目標値 74人) | — |
| 実績値 | 31人 | 31人 | | — |
| 達成状況 | 未達成 | 未達成 | | — |
| 取組実績 (取組計画) | <p>・平成29年度8人、平成30年度2人、令和元年度0人。</p> | <p>○計画 ・前年度の実績の低迷を受け、実施方法・周知方法を検討する。 ●実績 令和2年度0人。</p> | <p>○計画 ・事業の見直しを検討するとともに、周知方法についても検討し周知強化に努める。</p> | |
| 評価・ 改善内容 | <p>・介護事業所からは初任者研修ではなく、専門性を高める研修に対する助成を求める声もあり、ニーズに合っていないと考える。他の制度にもキャリアアップのメニューがあるが、介護人材確保のためどのような事業が必要か検討する。</p> | <p>・介護事業所からは初任者研修ではなく、専門性を高める研修に対する助成を求める声もあり、ニーズに合っていないと考える。今後は、介護人材確保のための育成支援事業の見直しを検討したい。</p> | | |

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

| | | | | |
|------------------------|--|-----------------------------|------------------------|-------|
| まちづくりの基本方針 | 2 伊豆の国市にしごとをつくる(産業・経済・労働) | | | 担当部署 |
| 施策の大綱 | 2 地域特産品の競争力の強化(産業・経済・労働) | | | 農業商工課 |
| 成果指標 | 地域ブランドの支援件数(累計) | | | |
| | 基準値(2015年度) | | 目標値(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 5件 |
| | (期待値) 3件 | (期待値) 4件 | (目標値) 5件 | 特記事項 |
| 実績値 | 7件 | 7件 | | |
| 達成状況 | 達成 | 達成 | | |
| 取組実績 (取組計画) | ・地域ブランド支援事業の実施(県地域産業資源認定数 7件/田中山西瓜、田中山干し大根、小坂みかん、天野柿、浮橋そば、里山浮橋うどん、うきはしそうめん)。 | ○計画 ・地域ブランド支援事業の実施。 | ○計画 ・地域ブランド支援事業の実施。 | |
| 評価・ 改善内容 | ・引き続き、効果的な販路開拓ができるよう支援していく。 | ・引き続き、効果的な販路開拓ができるよう支援していく。 | | |
| 大綱の総合評価 (主要施策の達成状況) | 主要施策の達成割合 2/3 | | 概ね順調に推移している。 | |

| | | | | |
|----------------|---|--|-------------------------------|----------|
| 主要施策 | 12 優良農地の保全、農産物や商工品等の地域ブランド化の支援 | | 担当部署 | 農業商工課 |
| 主要施策の 成果指標 | エコファーマーが生産する農産物の認定作物件数(累計) | | | |
| | 基準値 45件(2015年度) | | 目標値 100件(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 80件) | (期待値 90件) | (目標値 100件) | — |
| 実績値 | 70件 | 60件 | | — |
| 達成状況 | 未達成 | 未達成 | | — |
| 取組実績 (取組計画) | ・生産団体への支援を実施、販売実績の増加を図った。 ・品評会や鳥獣被害防止の支援を実施。 | ○計画 ・今のところ2019年度を同様の予定。 ●実績 ・生産団体への支援を実施、販売実績の増加を図った。 ・鳥獣被害防止の支援を実施。 | ○計画 ・生産団体の支援 ・鳥獣被害防止の支援 | |
| 評価・ 改善内容 | ・エコファーマー認定を受ける農業者が減少傾向、認定に対するインセンティブを検討する必要がある。 | ・高齢化等により認定を更新しない農業者が増加傾向。新規認定の増加を図る。 | | |

| | | | | |
|----------------|--------------------------------|---|------------------------------------|----------|
| 主要施策 | 13 6次産業化や農商工等連携の支援と地産地消の推進① | | 担当部署 | 農業商工課 |
| 主要施策の 成果指標 | 6次産業化や農商工連携の支援件数(累計) | | | |
| | 基準値 1件(2015年度) | | 目標値 7件(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 5件) | (期待値 6件) | (目標値 7件) | — |
| 実績値 | 9件 | 10件 | | — |
| 達成状況 | 達成 | 達成 | | — |
| 取組実績 (取組計画) | ・商品開発に対する補助金交付、1件。 | ○計画 ・商品開発、販路開拓に対する補助金交付を実施する予定。 ●実績 ・商品開発に対する補助金交付、1件。 | ○計画 ・商品開発、販路開拓に対する補助金交付を実施する予定。 | |
| 評価・ 改善内容 | ・販路開拓に対する補助もあり、制度周知を強化する必要がある。 | ・販路開拓に対する補助もあり、制度周知を強化する。 | | |

| | | | | |
|----------------|---|--|--|----------|
| 主要施策 | 13 6次産業化や農商工等連携の支援と地産地消の推進② | | 担当部署 | 学校教育課 |
| 主要施策の 成果指標 | ふるさと給食の拡大 | | | |
| | 基準値 1日(2015年度) | | 目標値 4日(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 3日) | (期待値 3日) | (目標値 4日) | — |
| 実績値 | 3日 | 3日 | | — |
| 達成状況 | 達成 | 達成 | | — |
| 取組実績 (取組計画) | ・ふるさと給食の日を実施し、学校給食において地産地消を推進。 ・今年度、市内生産者やJAに協力してもらい、作付け計画をした野菜を給食で使用。 | ○計画 ・新型コロナの影響で、給食の提供が停止し、市内産の春・夏野菜を提供を見込むことが困難。 ●実績 ・新型コロナの影響で4月5月は給食の提供が停止したが、6月以降、市内統一献立を実施し、市内生産者やJAに協力してもらい市内産の野菜、果物を給食で使用。 | ○計画 ・引き続き、ふるさと給食の日を実施し、学校給食において地産地消を推進する。 ・市内生産者やJAと連携し、事業を継続する。 | |
| 評価・ 改善内容 | ・市内産の野菜を給食で提供できる回数が増えている。市内生産者やJAと連携し、使用品目を増やすとともに、事業を継続できる体制を整える。 | ・提供できる市内産の使用品目が増えている。 ・市内生産者やJAと連携し、事業を継続できる体制を整える。 | | |

第2次伊豆の国市総合計画 進行管理票

| | | | | |
|------------------------|--|--|---|-------|
| まちづくりの基本方針 | 2 伊豆の国市にしごとをつくる(産業・経済・労働) | | | 担当部署 |
| 施策の大綱 | 3 地域産業の活性化と新たな雇用の創出 | | | 政策戦略課 |
| 成果指標 | 企業誘致件数(累計) | | | |
| | 基準値(2015年度) | | 目標値(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 5件 |
| | (期待値) 3件 | (期待値) 4件 | (目標値) 5件 | 特記事項 |
| 実績値 | 3件 | 4件 | | |
| 達成状況 | 達成 | 達成 | | |
| 取組実績 (取組計画) | <ul style="list-style-type: none"> 企業誘致の実施。 市内未利用地や市街化調整区域の空き工場等の把握。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画●実績 企業誘致の実施。 補助金の説明を実施した。 市内未利用地や市街化調整区域の空き工場等の把握。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 企業誘致の実施。 補助金の説明を実施する。 市内未利用地や市街化調整区域の空き工場等の把握。 | |
| 評価・改善内容 | <ul style="list-style-type: none"> 企業側のニーズを把握しつつ、引き続き、積極的な企業誘致に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 概ね良好である。引き続き、積極的な企業誘致に努める。 | | |
| 大綱の総合評価 (主要施策の達成状況) | 主要施策の達成割合 3/4 | | 概ね順調に推移している。 | |

| | | | | |
|----------------|--|--|--|----------|
| 主要施策 | 14 企業誘致等の促進 | | 担当部署 | 政策戦略課 |
| 主要施策の 成果指標 | 企業訪問件数(累計) | | | |
| | 基準値 8件(2015年度) | | 目標値 100件(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 60件) | (期待値 80件) | (目標値 100件) | — |
| 実績値 | 84件 | 112 | | — |
| 達成状況 | 達成 | 達成 | | — |
| 取組結果 (取組計画) | <ul style="list-style-type: none"> 内陸フロンティア内の1区画に対し企業誘致することができた。 イハラサイエンス株式会社に対し企業立地補助金を交付。 ㈱TOSEIに対し、奨励金を交付。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 進出や拡大を検討している企業等に補助制度を周知する。 ●実績 進出や拡大を検討している企業等に補助制度を周知することができた。 企業立地補助金を1件、奨励金を2件交付。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 多様な働き方に対応した補助制度の新設を検討。 企業立地補助金を1件交付する。 | |
| 評価・改善内容 | <ul style="list-style-type: none"> 市有地のみならず私有地に対する情報の発信を行い、企業誘致を促進させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 件数は増加傾向である。今後は多様な働き方に対応した企業誘致を促進させる。 | | |

| 主要施策 | 15 中小企業への経営基盤強化支援 | | 担当部署 | 農業商工課 |
|----------------|--|---|---|----------|
| 主要施策の 成果指標 | 中小企業診断士等による相談件数 | | | |
| | 基準値 20件(2015年度) | | 目標値 80件(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 60件) | (期待値 70件) | (目標値 80件) | — |
| 実績値 | 50件 | 168件 | | — |
| 達成状況 | 未達成 | 達成 | | — |
| 取組結果 (取組計画) | <ul style="list-style-type: none"> ・商工会運営に対する支援として補助金を交付、「よろず支援拠点」の相談会を定期的に実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・コロナ禍の影響により、引き続き相談事業を強化する。 ●実績 ・コロナ禍の影響により相談事業を強化して実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・引き続き、相談事業を強化して実施。 | |
| 評価・ 改善内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・商工会では、様々な相談事業を実施している。 ・継続して実施し、事業者を支援する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・商工会で、新型コロナ対策の無料個別相談を実施、件数が非常に増えた。 | | |

| 主要施策 | 16 創業希望者への支援体制の強化 | | 担当部署 | 農業商工課 |
|----------------|---|--|--|----------|
| 主要施策の 成果指標 | 特定創業支援事業を受けて創業した件数(累計) | | | |
| | 基準値 ー(2015年度) | | 目標値 10件(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 6件) | (期待値 8件) | (目標値 10件) | — |
| 実績値 | 22件 | 36件 | | — |
| 達成状況 | 達成 | 達成 | | — |
| 取組結果 (取組計画) | <ul style="list-style-type: none"> ・「伊豆の国創業塾」を受講し、創業、事業継承した者に補助金を交付、9件。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・2019年度と同様に事業を実施予定。 ●実績 ・「伊豆の国創業塾」を受講し、創業、事業継承した者に補助金を交付、14件。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・2020年度と同様に事業を実施予定。 | |
| 評価・ 改善内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・H28:5件、H29:8件、年度ごとに実績は増加している。引き続きPRに努めていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 受講者、創業者は、年々増加。引き続きPRに努める。 | | |

| | | | | |
|----------------|--|--|---|----------|
| 主要施策 | 17 空き店舗対策や店舗リフォーム等による市街地の魅力の向上の推進 | | 担当部署 | 農業商工課 |
| 主要施策の 成果指標 | 店舗リフォームの助成件数(累計) | | | |
| | 基準値 (2015年度) | | 目標値 155件(2021年度) | |
| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | (特記事項ほか) |
| | (期待値 75件) | (期待値 95件) | (目標値 115件) | — |
| 実績値 | 81件 | 102件 | | — |
| 達成状況 | 達成 | 達成 | | — |
| 取組結果 (取組計画) | <ul style="list-style-type: none"> ・店舗リフォームに対し補助金を交付(商工会が実施し、市が補助金交付)22件。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・店舗リフォームに対し補助金を交付する。 ●実績 ・店舗リフォームに対し補助金を交付(商工会が実施し、市が補助金交付)21件。 | <ul style="list-style-type: none"> ○計画 ・店舗リフォームに対し補助金を交付、新型コロナ対策を条件に追加。 | |
| 評価・ 改善内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標は達成しているが、実績は減少傾向、事業の縮小、終了時期を検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・件数は安定しており、当面は継続する。 | | |

まちづくりの基本方針2 伊豆の国市にしごとをつくる(産業・経済・労働)

施策の大綱 2-1 地域を支える人材の就労支援

将来の姿／

地域を支える人材の就労支援が定着し、就労の場が確保されるとともに、安定した経済基盤を得ています。

■ 指標(成果指標)

事業所数の増加

事業所の従業者数の増加

[主要施策]

9. 地域の企業と就職希望者のマッチング、就労訓練や自立相談の推進

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|---|-------------------------------------|--|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 働き手を求める市内企業と市内で働きたい学生や市民の希望を結びつけるため、地元企業情報の積極的な発信と就業支援の体制づくりなどに取り組みます。職業能力訓練への支援、就業に関する相談・情報提供の充実を図ります。 | ・ 地元企業情報の提供体制の充実 | ・ 伊豆市と合同の就職説明会「伊豆おソトさがしフェア」を開催。各市内計30事業所と就職希望者のマッチングを実施(参加者数平成30年度:53人、令和元年度:68人) | |
| | ・ ビジネスマッチング事業の実施 | ・ 市内事業所の求人情報を市HPへ掲載(毎週更新) ・ 若手勤労者スキルアップセミナーの実施(令和元年度実績:101人) ・ 事業承継セミナーの実施(平成30年度実績:2回開催延べ46事業所) | |
| | ・ 早期就職に係る相談支援体制の充実(ハローワークとの連携体制の強化) | ・ 就職活動スタートアップセミナーの実施(令和元年度実績:16人) | |
| | ・ 職業能力訓練施設の周知と情報提供 | ・ 伊豆口頭職業訓練校への支援。 | |
| | ・ 母子家庭等自立支援教育の推進 | ・ 指定された教育訓練講座の受講に要した費用の一部、又は、生活の安定につながる資格を取得するための費用の一部を支給する母子家庭等自立支援訓練給付金制度を実施 | |
| | ・ 訓練費給付金事業の継続 | | |

[主要施策]

10. 新規就農者の育成・支援

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|---|---|--|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 他産業から農業を志す青年等を対象に先進的な農業経営者のもとで農業技術や経営ノウハウなどを習得することを支援し、新たな担い手の育成・確保を図ります。 | ・ 新規就農者の発掘(県・青年農業等育成センター・農協との連携) | ・ 県、JA伊豆の国と連携し、「がんばる新農業人」を募集研修を経て新規就農している。研修修了者は、H29:2、H30:4人、R1:9人、R2:3人、累計84人。ニューファーマーとして認定された就農者数は81人となった(令和元年度実績)。 | |
| | ・ 新規就農者の育成・支援(農業技術や経営ノウハウ、販路開拓・新商品開発セミナー等の情報提供) | ・ 経営が不安定な就農直後の所得を確保するため、農業次世代人材投資資金の補助を実施。(H29:17件、H30:20件、R1:21件、R2:21件) ・ 経営体育成支援事業費補助金の交付(H29:0、H30:3人、R1:3人、R2:0) | |
| | ・ 育成を担う農業経営者の拡大 | ・ 農業機械等導入事業補助金の交付(H29:7人、H30:9人、R1:10人、R2:4人) | |

[主要施策]

11. 介護人材育成支援

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|---|----------------------|--|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 世代を問わず介護職員初任者研修を受講し就労した者を支援することにより、介護分野への雇用促進と質の高いサービスの提供を図ります。 | ・ 介護研修講師への支援 | | ○ |
| | ・ 介護職員初任者研修受講者への就労支援 | ・ 介護職員人材育成のため、介護職員初任者研修演習を受講し介護職に就いた市民へ補助金を交付した。(平成30年度実績:2人、令和元年度実績:0人)延べ31人。 | |
| | ・ 生活支援員養成研修会の実施 | ・ 平成30年度実施 | |

施策の大綱 2-2 地域特産品の競争力の強化

将来の姿／

6次産業化や農商工等連携が進み、市場競争力の高い地域ブランド商品が展開しています。

■ 指標(成果指標)

地域ブランド(※1)の支援件数(累計)

[主要施策]

12. 優良農地の保全、農産物や商工品等の地域ブランド化の支援

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|---|--|--|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 農業基盤への帰属的な投資、保全整備により、優良農地の保全を図ります。伊豆の国市の魅力や特徴を発信できる地域ブランドとなる高品質な商品の発掘や磨き上げを行い、地域ブランド商品の創出等を支援します。 | ・ 農地の保全と農業の振興 ・ 農業基盤への継続的な投資、保全整備 | ・ 農業委員会運営 ・ 農業振興地域整備計画に基づく取組を実施。同計画の定期見直しを実施。 ・ 農地中間管理機構が行う農地中間管理事業を受託して実施。 ・ 土地改良区への支援。 ・ 市農道整備(農道拡幅改良等)を実施。 ・ 農業に関心のある市民を対象に、野菜、花などを栽培して農業に対する理解を深めてもらうため、市民農園として特定農地の貸付を行った。(令和元年度実績:長岡市民農園37区画、葦山市民農園56区画、大仁市民農園24区画) | |
| | ・ 地域ブランドにつながる商品等の調査、発掘 | ・ 地域資源を活用した食品、工芸品等に対して「伊豆の国ブランド」の認定に関する補助を行った。 | |
| | ・ エコファーマーが生産する農産物の認定支援 | ・ エコファーマーの定期更新の通知、手続きの支援などを実施。(県認定) | |
| | ・ エコファーマーへの指導、支援 | ・ 有機栽培普及推進業務を専門家に委託し、相談等に対応した。 | |
| | ・ 販路拡大PR支援(地元観光売店、鉄道駅売店、首都圏アンテナショップ) | ・ 伊豆の国市の特産品である「いちご」を広くPRし、生産及び販売の拡大へ繋げるため、生産振興の一環として「いちごまつり」を開催した。(令和元年度実績:来場者数4,000人、品評会出品数158点、R2年度は品評会のみ162点) | |
| | ・ キャッチコピー・パッケージデザイン等の支援(ブランドネーミング、知的財産戦略等) | ・ 特産品生産者団体(専委員会)の活動に対し補助金を交付した。 | |
| | ・ 新たな販売チャンネルの開発(大手スーパー、JA、農産品Webサイトでの紹介等) | ・ ふるさと納税サイトの増加 | |
| | ・ 商工会が行う「伊豆の国ブランド認定商品」募集事業への支援 | ・ 地域資源を活用した食品、工芸品等に対して「伊豆の国ブランド」の認定に関する補助を行った。(平成30年度新規ブランド数:17件、令和2年度時点の総ブランド認定数:210品) ・ 地域ブランド支援事業の実施(静岡県産業資源認定数)は令和元年度末時点で7件となった。 | |
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 有害鳥獣の捕獲や耕作放棄地の解消に取り組まします。 | ・ 有害鳥獣の捕獲 | ・ 野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、捕獲・防除・環境整備を行う猟友会等に対し、助成金を交付した。(平成30年度鳥獣被害金額:7,956,000円 報償費:4,283,400円、令和2年度鳥獣被害金額:7,997,000円 報償費:4,428,600円) | |
| | ・ 農地台帳の全国統一データを活用した、耕作放棄地解消と営農環境の確保 | ・ 毎年度、データに基づく農地パトロールを実施。R2年度:再生利用が可能な荒廃農地(A分類)40.8ha、再生利用が困難と見込まれる荒廃農地(B分類)65.7ha | |

[主要施策]

13. 6次産業化や農商工等連携の支援と地産地消の推進

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|---|--|---|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 6次産業化等に取り組もうとする農業者等の発掘を行い、農業者や商工業者等の6次産業化や農商工等連携を支援します。 | ・6次産業化に取り組む就農者等の発掘・育成(JAバンクアグリサポート事業・新規就農応援事業等の活用) | ・H29:小坂みかんを使用した商品を開発、H30:いちごを使用した商品を開発(担い手等へ呼びかけ)。H30~R2:静岡DCで事業展開。 | |
| | ・新商品の開発・生産に対する商工関係事業者への事業支援(商工会各種助成事業の活用) | ・商品開発及び販路開拓活動に対する補助や支援を実施した。(H29~R2累計:9件) ・「いずろく」プロジェクトを開始。シールやのぼり旗等でPRした。 | |
| | ・6次産業化に対する支援補助金の整備・拡充や、商工会の事業補助メニュー等による継続支援(商工会との連携) | | |
| | ・地域産業おこしに対する事業者支援(施設を設置する基盤施設事業等の国の事業支援の活用) | ・地域おこし協力隊により地域ブランド化や地場産品の開発・販売の一助を担った。 | |

施策の大綱 2-3 地域産業の活性化と新たな雇用の創出

将来の姿/

企業誘致や起業・創業支援が進み、新たな雇用が創出されています。

空き家対策や店舗リフォーム等が進み、商店街が賑わっています。

来訪客の受入れ態勢強化により、魅力的な観光地・温泉街を再生し、地域産業全体が活性化しています。

■ 指標(成果指標)

企業誘致件数(累計)

[主要施策]

14. 企業誘致等の促進

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|---|---|---|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 県や関係機関と連携し、補助制度等の情報の積極的な発信とともに、進出予定企業に対し、立地計画から創業までの様々な相談に迅速対応するワンストップサービスの体制強化を図り企業誘致等を促進します。既存企業への訪問機会を増やす等、より正確な地域企業のニーズの把握に努め、適切な支援を図ります。 | ・大規模跡地等を活用した企業誘致の推進 ・各種補助制度、融資制度による誘致企業への支援事業の実施 | ・令和元年度に内陸フロンティア内の1区画に対して企業を誘致した。 ・令和元年度にイハラサイエンス株式会社に対し企業立地補助金を交付した。 ・令和元年度に㈱TOSEI、㈱キョウデンプレジジョンに対し、奨励金を交付した。 ・産学官連携により創出される製品化シーズと地域企業の技術とのビジネスマッチングを促進するため、静岡県産業振興財団ファルマバレーに負担金を支出した。 | |

[主要施策]

15. 中小企業への経営基盤強化支援

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|---|------------------------------|---|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 伊豆の国市商工会や中小企業診断士等と連携し、中小企業に対する経営相談や事業者への支援体制を強化します。 | ・商工会と連携した経営相談等の事業者支援 | ・商工会運営に対する支援として補助金を交付し、「よろず支援拠点」相談会を定期的に実施した。(R1:50件、R2:168件) | |
| | ・商工会と連携した経営基盤強化支援に対する融資制度の実施 | ・仕入れ、決裁、賞与に要する費用の借入に対し、「短期経営改善資金」として利子補給を行った。(H29:39件、H30:17件、R1:20件、R2:10件) ・事業資金に要する費用の借入に対し、「小口資金」として利子補給を行った。(H29:64件、H30:51件、R1:45件、R2:36件) | |
| | その他 | ・市の発注する建設工事において卓越した技術・優れた成績を修めた工事受注者や技術者に対し表彰を実施した。(平成30年度実績:優良工事表彰2件、優良技術者表彰2件) ・伊豆の国市商工会の運営に対する支援のため、補助金を交付した。(令和元年度実績:14,984,000円、令和2年度実績:14,693,924円)) | |

[主要施策]

16. 創業希望者への支援体制の強化

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|---|---------------------|---|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 創業支援事業計画を策定するとともに、伊豆の国市商工会等の関係機関と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催等の創業支援を実施します。 | ・創業支援事業計画の策定 | ・ふじのくに少子化突破の一環として3カ年の実施計画を策定し、県へ提出した。(H29~R1、R2~R4、経済産業省、総務省の認定) | |
| | ・創業希望者に対する総合的な窓口の設置 | ・伊豆の国市商工会で創業に関する個別相談を実施。中小企業診断士が対応。 | |
| | ・商工会による創業セミナー等への支援 | ・伊豆の国市商工会主催の「伊豆の国創業塾」を実施。創業や事業継承した者に補助金を交付した。令和元年度実績で9件、令和2年度実績で14件。累計で36件となった。 | |

[主要施策]

17. 空き店舗対策や店舗リフォーム等による市街地の魅力の向上

| 計画 | | 前期基本計画の実績 | |
|--|--------------------------------|--|-----|
| 施策内容 | 主な取組 | 実績 | 未実施 |
| 伊豆の国市商工会と連携して営業中の店舗及び、空き店舗をリフォームする事業者を支援するとともに、魅力のある店舗で来訪者をもてなし、商業の活性化を図ります。 | ・空き店舗の活用による商店街の活性化(新規テナントの誘致等) | ・観光客のおもてなしをするため、店舗リフォーム助成を行った。活用した件数は令和元年度実績で22件、令和2年度実績で21件、累計で102件となった。 ・商工会主催の創業支援塾の実施を支援。 | |
| | ・店舗リフォームの推進 | | |
| | ・景観に配慮した看板架け替え等の工事への助成 | | ○ |